



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

「いのち・平和・暮らしを守り、希望ある県政にチェンジしよう」

遠藤れい子後援会パワーアップ県民の声を県政に



9/7 遠藤れい子後援会パワーアップ、遠藤さんを囲んで記念撮影

9月7日(日)、長岡市長町事務所で「遠藤れい子後援会」が開かれ、活発な発言が交わされました。活動の目的・目標、当面の活動計画を確認、新しい役員が決まりました。

遠藤れい子のあいさつ

「298票差の落選から2年が経ちましたが、国政も県政もあまりにもひどすぎる。市内の病院も赤字が膨らみ存続の危機に直面して

いると悲痛な訴えが寄せられました(前号参照)。緊急な診療報酬の引き上げが必要です。

コメ不足も深刻で、自民党県政では若手就農者も激減し日本農業の明日が危ない。

柏崎刈羽原発の再稼働は絶対に認められません。このまま黙っているなどできません。医療の専門家がどうしても県政には必要です。頑張ります。」と力強く決意が述べられました。

共同代表にお二人選出

○共同代表に中村加代子、清水陽子のお二人を選出。

行き詰る自民党政治 石破首相退陣

*裏金問題には無反省

*物価高騰や米不足など国民生活の苦難に無為無策

*アメリカ言いなりに兵器を爆買いし防衛費の大膨張

*一方的な高関税受け入れ 自民党政治は混乱し破綻

○さあ、政治を変えましょう。日本共産党の出番です。

再稼働賛成への誘導が露骨な県民意識調査票

新潟県は、柏崎刈羽原発の再稼働に関する県民の意見について、野村総研に委託した「意識調査票」を公表した。30km圏内6000人、ほか県内6000人の県民に発送した。

この意識調査内容は、再稼働賛成へ露骨に誘導する組み立てとなっていて、新潟県の再稼働賛成への姿勢を明確にしている。

先の「公聴会」も一般公募だけでなく、建設業・運送業など経済団体はじめいくつもの団体推薦を通して、「条件付き賛成」を表明せしめた。

その上で、今回の意識調査ではそれらの条件があったかも対策が練られているかのような設問の仕方となっている。

遠藤れい子の笑顔でファイト

「条件付き賛成」の意味するもの
「原発の安全性や避難の課題がクリアすれば」という思い

柏崎刈羽原発の再稼働に関する県民の意識調査について…立石雅昭さんの指摘



立石雅昭さん(元県技術委員会委員)

避難道路の拡充は？
避難道路拡充も机上の計画だけ。東電の運転適格性も問題が次々。こういう現状では、「再稼働はするべきではない」と考えるのが普通ではないでしょうか。

が多いことは事実でしょう。しかし、これらの課題がクリアするかどうかは、すべて先送り。というか、計画だけが出されている状況で、何時になったら、具体的にクリアできるかは分からない状況です。現実にはこうした条件がクリアされていない状況で再稼働される？

例えば、特定重大事故対処施設は予定では2029年完成。工事も始まっていません。そういう状況で再稼働してあり得るでしょうか。